# 別紙５　証明書二次元バーコード仕様

令和2年1月14日以降に発行された証明書等に印字されている証明書二次元バーコードが保持する情報について、以下に示す。

## 不動産の証明書二次元バーコード

###  証明書二次元バーコードが保持する情報

不動産の証明書二次元バーコードが保持する情報の概要について、表1-1に示す。

表1-1 証明書二次元バーコードの情報（不動産）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 項目名 | 形式 | 桁数 | 備考 |
| 1 | 二次元バーコード区分 | 半角英数字 | 2 | “F3”固定 |
| 2 | 管轄登記所コード | 半角英数字 | 4 |  |
| 3 | 不動産番号 | 半角数字 | 13 |  |
| 4 | 受付年月日 | 半角数字 | 8 |  |

###  証明書二次元バーコードが保持する情報の格納位置について

不動産の証明書二次元バーコードは27桁の半角英数字で構成され、その中の定められた位置に表1-1の情報を格納する。二次元バーコードの中の位置と、格納される情報について、表1-2に示す。

表 1-2 二次元バーコード内の各情報の格納位置の一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 項目名 | 位置 |
| 01 | 二次元バーコード区分 | 1~2桁目 |
| 02 | 管轄登記所コード | 3~6桁目 |
| 03 | 不動産番号 | 7~19桁目 |
| 04 | 受付年月日 | 20~27桁目 |

不動産の証明書二次元バーコードを読み取り、各情報を抽出する処理のイメージについて、図1-1に示す。

F30100010099999999920200114

2文字

4文字

13文字

8文字

読み取り

二次元バーコードを読み取ると、

27桁の文字が入力される。

二次元バーコード区分 ： F3

管轄登記所コード ： 0100

不動産番号　　　　　 ： 0100999999999

受付年月日 ： 20200114

入力された文字列の

指定の位置から、

各情報を抽出できる。

図 1-1 不動産の証明書二次元バーコードを読み取り、各情報を抽出する処理のイメージ図

なお、二次元バーコード区分の値が”F3”でない場合は不動産の証明書二次元バーコードではないので、二次元バーコードから読み取った内容で、物件情報取得機能を利用しないよう制御すること。

## 商業・法人の証明書二次元バーコード

###  証明書二次元バーコードが保持する情報

商業・法人の証明書二次元バーコードが保持する情報の概要について、表2-1に示す。

表2-1 証明書二次元バーコードの情報（商業・法人）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 項目名 | 形式 | 桁数 | 備考 |
| 1 | 二次元バーコード区分 | 半角英数字 | 2 | “B3”固定 |
| 2 | 管轄登記所コード | 半角英数字 | 4 |  |
| 3 | 会社法人等番号 | 半角英数字 | 12 |  |
| 4 | 管理番号 | 半角英数字 | 12 |  |

###  証明書二次元バーコードが保持する情報の格納位置について

商業・法人の証明書二次元バーコードは30桁の半角英数字で構成され、その中の定められた位置に表2-1の情報を格納する。二次元バーコードの中の位置と、格納される情報について、表2-2に示す。

表 2-2 二次元バーコード内の各情報の格納位置の一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 項目名 | 位置 |
| 01 | 二次元バーコード区分 | 1~2桁目 |
| 02 | 管轄登記所コード | 3~6桁目 |
| 03 | 会社法人等番号 | 7~18桁目 |
| 04 | 管理番号 | 19~30桁目 |

商業・法人の証明書二次元バーコードを読み取り、各情報を抽出する処理のイメージについて、図2-1に示す。

B30100010001999999010001999999

2文字

4文字

12文字

12文字

読み取り

二次元バーコードを読み取ると、

30桁の文字が入力される。

二次元バーコード区分 ： B3

管轄登記所コード ： 0100

会社法人等番号　　　 ： 010001999999

管理番号 　 ： 010001999999

入力された文字列の

指定の位置から、

各情報を抽出できる。

図 2-1 商業・法人の証明書二次元バーコードを読み取り、各情報を抽出する処理のイメージ図

なお、二次元バーコード区分の値が”B3”でない場合は商業・法人の証明書二次元バーコードではないので、二次元バーコードから読み取った内容で、会社・法人情報取得機能を利用しないよう制御すること。